



知っておきたい

松江市名誉市民



名誉市民章

松江市では、市民又は本市において縁故の深い方で、公共の福祉の増進や文化の進展に寄与した方を「松江市名誉市民」とし、その功績を称えています。現在24名の方にこの称号が贈られています。シリーズで1名ずつ紹介していきます。郷土の誇りとして、いつまでも私たちの心に刻んでいきたいですね。

わかつき れいじろう

第9回 若槻 禮次郎 氏 【1866~1949】(昭和33年5月3日 顕彰)



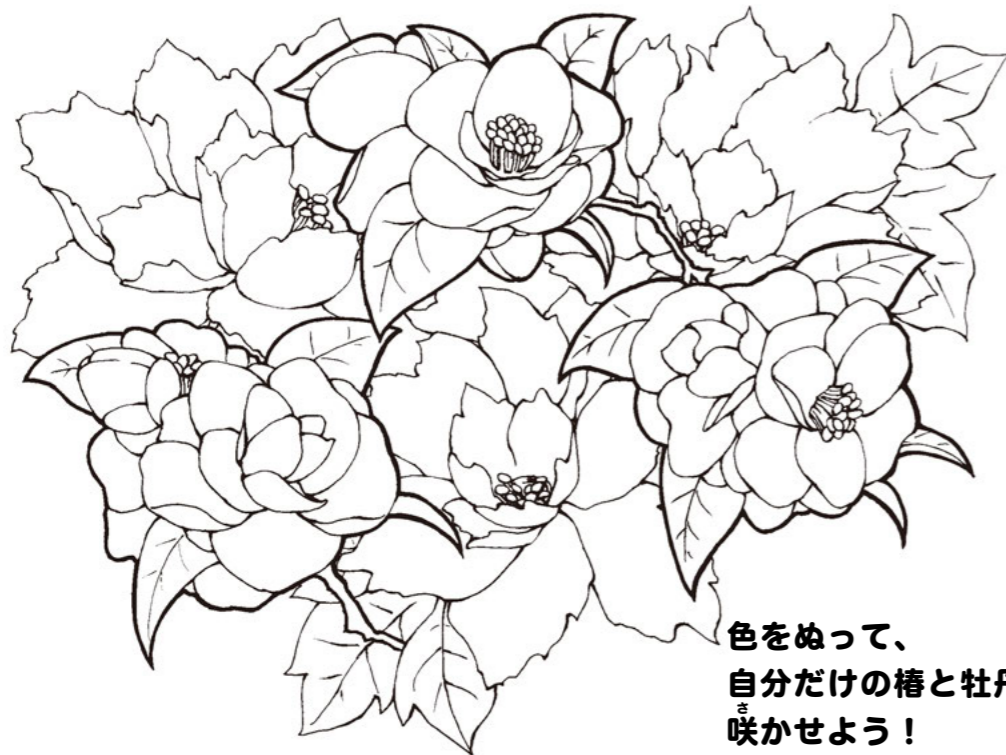
写真：「松江市勢要覧」より転載

松江市雑賀町で生まれる。県立第一中学校(後の松江中学)を途中で退学し小学校の代用教員となる。明治17年上京、司法省の法律学校に私費生として入学、東京帝国大学法科に進んだ。在学中、学費援助を依頼した叔父・若槻敬の養子となり、後に敬の一人娘と結婚した。

卒業後は、大蔵省に入り主税局長などを経て大蔵次官となる。大正元年、同3年大蔵大臣、大正13年には内務大臣となり、普通選挙法を成立させた。加藤首相死去により大正15年から昭和2年まで、島根県初の内閣総理大臣となった。

昭和5年、浜口内閣ではロンドン海軍軍縮会議に日本代表として出席した。浜口首相が銃弾に倒れた後を継ぎ首相となり、第二次若槻内閣を組閣した。昭和6年のことであるが、わずか8カ月で総辞職した。困難な国家財政に立ち向かい、大正、昭和の政界の中樞を歩み平和主義を貫いた。

島根県庁前には、禮次郎の胸像が建てられている。



色をぬって、
自分だけの椿と牡丹を
咲かせよう！

参考にした資料など

- まつえ椿MAP 平成31年3月改訂版(松江市観光文化課)
- ふるさと島根の椿(山陰カメラアンクラブ編、山陰中央新報社)
- 大根島 島根県松江市八束町観光ガイドブック(松江市観光協会八束町支部)
- 八束町誌(八束町教育委員会編、八束町教育委員会)
- 47都道府県・花風景百科(西田正憲編著、丸善出版)
- 松江市 市勢要覧 国際文化観光都市 MATSUE STYLE 2019(松江市政策部秘書広報課編集、松江市)
- 市政概要松江 令和2年版(松江市議会事務局編集、松江市議会事務局)

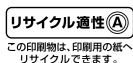
- 松江市ホームページ
- 松江観光協会ホームページ
- 大根島 松江観光協会 八束町支部ホームページ

ご協力いただいた方々

松江市教育委員会生涯学習課
松江市観光文化課

島根図書館 | 松江市島根町加賀1414番地(島根公民館併設)
TEL (0852) 85-9088 E-mail: shimane@lib-citymatsue.jp

東出雲図書館 | 松江市東出雲町掛屋1139番地2(東出雲ふれあい会館内)
TEL (0852) 52-3297 E-mail: higashiizumo@lib-citymatsue.jp



印刷：今井印刷株式会社



松江市立図書館報
編集・発行／松江市立中央図書館
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44
☎(0852)27-3220
2021年3月発行
https://www.lib-citymatsue.jp/
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp



「松江市市民憲章かるた」より転載

内容

- 表紙 松江市市民憲章かるた(一部)
- 見開き 市民に愛される松江の花 椿・牡丹
- 裏表紙 郷土の葉 松江市名誉市民シリーズ「若槻 禮次郎氏」
ぬり絵 椿・牡丹

市民に愛される松江の花

みなさんは、都道府県、市区町村を象徴する花・木などがあることを知っていますか。
 全国でさまざまな花・木が選ばれています。
 今回は、松江市の花に選ばれている「椿」「牡丹」(平成18年10月8日制定)について紹介します。

椿 つばき

牡丹 ぼたん

椿は、松江を象徴する花で全市域にも多く自生しています。古くから人々の暮らしに欠かせない植物であり、椿材は家具、食器、工具、武具、薪炭材などに利用されてきました。実から採れる椿油は、食用、灯用、化粧用、武具の手入れ用、また不老長寿の医薬として使われていました。

江戸時代、全国的に椿が流行し松江にもその波がきます。松江藩松平家7代藩主松平治郷(不昧)公など椿の好

きな殿様が、参勤交代の時に江戸や京都から苗を持ち帰り、椿谷に植えたことからピンクや白などたくさんの品種が生まれたと言われていました。その結果、松江オリジナル品種は約100種にも及び、全国的に松江産の椿が評価されています。茶花として好まれており、茶人である不昧公ゆかりの松江にふさわしいとされ、椿は松江市の花として選ばれました。

牡丹は、松江市八束町・大根島の特産品です。約300年前に、波入にある全隆寺の住職が遠州(今の静岡県)の秋葉山で修行をした時に、薬用として持ち帰って境内に植えたことが始まりだと伝えられています。

その後、観賞用として栽培が広まり、1955(昭和30)年頃には、芍薬の苗に牡丹を継ぐ栽

培技術が開発され、生産量が増えて海外にも輸出されるようになりました。日本だけでなく、世界でも高く評価されています。

1954(昭和29)年には島根県の花にも選ばれています。

松江市内にある椿の名所

■満願寺

品種：満願寺玉椿
 毛利元就が永禄年間(1558~1570)、満願寺に陣取った時、自らの手で植えたと伝えられています。樹齢450年の大木です。

■八重垣神社

品種：連理玉椿
 福田姫命が地に立てた2本の椿の枝が、成長して1本になったという伝説の椿です。縁結びの椿で、夫婦椿とも呼ばれています。

他にもたくさんの名所があります!

八束町・大根島には江島牡丹園、日本庭園由志園など様々な牡丹を見ることができる施設があります。牡丹の花が見頃の4月下旬~5月初旬には、例年、大根島ぼたん祭りが開催されます。「牡丹切花品評会」、牡丹と休憩スポットを設けた「牡丹ギャラリー」、牡丹畑をめぐる「ぼたんウォーク」が行われ、色とりどりの美しい牡丹を楽しむことができます。

写真：「まつえ椿MAP」より転載

合わせて知っておきたい!

松江市の木と魚介



松

市内でたくさん目にする事ができる松は、市章にも使われている松江市の象徴です。



桜

市内には、松江城山をはじめ、たくさんの桜の名所があり、桜にちなんだ祭りも多いです。



しじみ

宍道湖で採れるしじみは「宍道湖七珍」の一つとして全国的に有名な松江の特産品です。



鯛

日本海の荒波で育つ力強い鯛は、松江市の発展を願う縁起の良い魚です。